

令和7年7月29日

データサイエンス・オンライン講座  
「社会人のためのデータサイエンス演習」の受講者募集開始  
—令和7年9月30日リニューアル開講—

総務省は、統計リテラシー向上の取組として、“データサイエンス”力の高い人材育成のため、データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」を令和7年9月30日（火）からリニューアル開講することとし、本日から受講者の募集を開始します。

今回、全面リニューアルを行い、データサイエンスの理論や手法をビジネス上の事例を想定した演習で反復学習できる構成にしました。新しく生まれ変わった本講座を是非御受講ください。

○講座の概要

データ分析（統計分析）の手法を、表計算ソフト（Microsoft Excel）や統計解析ソフトRを使った演習を交えて学習します。演習は全てビジネス上の事例を想定した実践的な内容です。

本講座は、平成28年4月に初めて開講し、これまで延べ約9万9千人に受講していただきました。

○開講期間

令和7年9月30日（火）～12月9日（火）の予定です。

○受講登録

本講座紹介用ウェブサイト（<https://gacco.org/stat-japan2/>）において、どなたでも受講登録が可能（登録料及び受講料無料）ですので、是非御登録ください。

※ 受講登録は、令和7年11月17日（月）までの予定です。

（別紙）

データサイエンス・オンライン講座「社会人のためのデータサイエンス演習」の概要

（連絡先）

統計局統計情報利用推進課

担当：辻元 田中 平田

電話：03-5273-1023（直通）

E-mail: y-senryaku\_atmark\_soumu.go.jp

（スパムメール防止のため、「@」を「\_atmark\_」と表示しています。メールを送る際に「\_atmark\_」を「@」に直して入力してください。）

# データサイエンス・オンライン講座 「社会人のためのデータサイエンス演習」の概要

**講座の目的：** Excelや統計解析ソフトRを使った  
実践的なデータ分析（統計分析）の手法を習得する

**開講期間：** 令和7年9月30日（火）～12月9日（火）予定

**学習時間：** 1回10分程度×5～8回程度（1週間）×5週  
※Excelの演習を含む。このほかにRの演習有り  
（特別週。10分程度×8回）

**課題：** 各週の確認テストと最終課題の実施

**講師：** 松尾豊氏（東京大学大学院工学系研究科教授）ほか



週※	各週のテーマ	内容
1	データサイエンスとは	データサイエンスに必要な知識やデータ分析のサイクルを学ぶ (データサイエンスの未来と必要性、求められるスキルや知識、課題解決法等)
2	現状を把握して課題を見つける	データの特徴や2変数間の関連性を捉える方法を学ぶ (データの特徴や傾向をつかむ、相関分析等)
3	過去のデータから未来を予測してみよう	様々な変数から他の1変数を予測する方法を学ぶ (単回帰分析、重回帰分析、時系列データ分析等)
4	その差は偶然？それとも意味のある差？～結果を解釈する力をみにつける～	データ間に生じる差が偶然か意味のある差かを判定する方法を学ぶ (2つの母平均の差の検定、2項検定と独立性の検定、統計的因果推論等)
5	ビジネスでデータサイエンスを活用するにあたって	分析結果の報告方法や、データを扱う際の注意点を学ぶ (分析結果の報告、ビジネスケーススタディ、データ倫理等)

※2～4週において表計算ソフト（Microsoft Excel）の演習を実施。このほかに、特別週として統計解析ソフトRの演習を実施

## ▶ 講座の流れ

講義動画



確認テスト及び最終課題



修了証の発行

講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

## ▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

### 「社会人のためのデータサイエンス入門」

(講座の特徴)

統計データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

(開講時期)

初回開講：平成27年3月  
直近の開講：令和7年6月  
開講回数：21回 ※特別開講含む

(学習時間)

1回10分程度×6～9回程度  
(1週間)×4週

(実績)

社会人を中心に延べ  
約21万5千人が受講

### 「社会人のためのデータサイエンス演習」

(講座の特徴)

「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

(開講時期)

初回開講：平成28年4月  
直近の開講：令和6年9月  
開講回数：15回 ※特別開講含む

(学習時間)

1回10分程度×5～8回程度  
(1週間)×5週

(実績)

社会人を中心に延べ  
約9万9千人が受講

### 「誰でも使える統計オープンデータ」

(講座の特徴)

e-Stat（政府統計の総合窓口）等を使い、統計オープンデータの活用方法を学ぶ

(開講時期)

初回開講：平成29年6月  
直近の開講：令和7年1月  
開講回数：13回 ※特別開講含む

(学習時間)

1回10分程度×5～7回程度  
(1週間)×4週

(実績)

社会人を中心に延べ  
約6万2千人が受講